

あなたにとってボディとは？資料Ⅲ

WACOAL BODY SYMPOSIUM '74

独身女性・500人のボディ意識

調査要約

独身女性・500人のボディ意識 《目次》

1. 調査企画主旨	1
2. 調査実施企画概要	2
3. 調査結果概要	3
○ボディの連想語は人間中心である。	3
○ボディのイメージは肯定的である	4
○ボディ意識は中学生から	4
○ボディの外見上の影響はかなりある	6
○体型のイメージ(背が高くてやや小肥りが評価される)	7
○ボディは行動に影響するところが大きい	8
○若い女性(ヤング)の行動評価	9
○独身女性の趣味と関心	11
○美しく理想的なボディ	13
○アン・ルイス、欧陽菲菲、由美かおるが理想的なボディイメージのタレント	14
○美しいボディをつくる努力	14
○ファンデーションはボディの基本である	15
○男は性格・健康・行動力で評価される	16
参考資料(調査票)	18

① 調査企画主旨

本調査は，“Wacoal Body Symposium '74”の一環として、石川弘義ボディ・レポート「選ばれた女性・50人の証言」の分析の基礎資料収集を目的に実施したものである。

一般独身女性の“ボディ”に対する意識と，“ボディ”の実態を明らかにし、これらが、実際に行動とどのように関わりあっているかを解明したものである。

とくに、ボディの差が人を評価する場合どのような影響を与えるか、また、自身のボディによってどのような評価を下されているかの“実際”を探り、人を評価する、人に評価される場合に、ボディが果たす役割りを明らかにした。

さらに、このような実態から自己主張・自己表現とボディの関係を導き出してみた。

以下、調査結果の概要を参照いただきたい。

② 調査実施企画概要

○ 標本数および回収状況

抽出サンプル : 750

有効回収サンプル : 500 (回収率 66.7%)

○ 属性

学歴 (%)	中卒	高卒	短大在学	短大卒	大学在学	大卒		
	5	51	6	16	16	6		
年令 (%)	18～19才		20～21才		22～23才		24～25才	
	25		27		28		20	
職業の有無 (%)	有職		無職					
	66		小計	学生	その他			
			34	28	6			

体型 (%)	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
背が高い	24	26	24	20	27
普通	55	55	52	61	50
背が低い	21	19	24	19	23
肥っている	19	21	20	20	13
普通	51	50	49	54	53
やせている	30	29	31	26	34
均整がとれている	73	68	74	76	76
均整がとれていない	27	32	26	24	24

○ 調査期間

昭和49年7月19～25日

○ 調査機関

企画 : 株式会社ワコール

実施 : 株式会社電通PRセンター・企画調査局

③ 調査結果概要

○ ボディの連想語は人間中心である。

「ボディ」という語を示し独身女性に自由連想をさせると，“物”からの反応よりも人間中心の反応語が多く、全反応の62%は人間に関する反応である。

反応語の多い順に中項目でまとめたものが表1である。

表1. ボディの連想語（%はコンマ以下四捨五入：以下同じ）

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
N.	(500)	(117)	(138)	(143)	(102)
身体全体に関するもの	27 %	19 %	23 %	34 %	26 %
女らしさの表現	20	21	20	20	20
男らしさの表現	15	20	13	11	16
ファッション関連	18	14	17	19	13
添加連合反応	18	13	23	18	16
動作の表現	16	18	13	14	21
全 反 応 (%)	153	142	155	155	157

女らしさの表現は「プロポーション・スタイル」に代表され、男らしさの表現は「たくましさ」に表現されており、とくに面白いのは年齢の若いほど“ボディと男”の結びつきをより強く意識していることである。

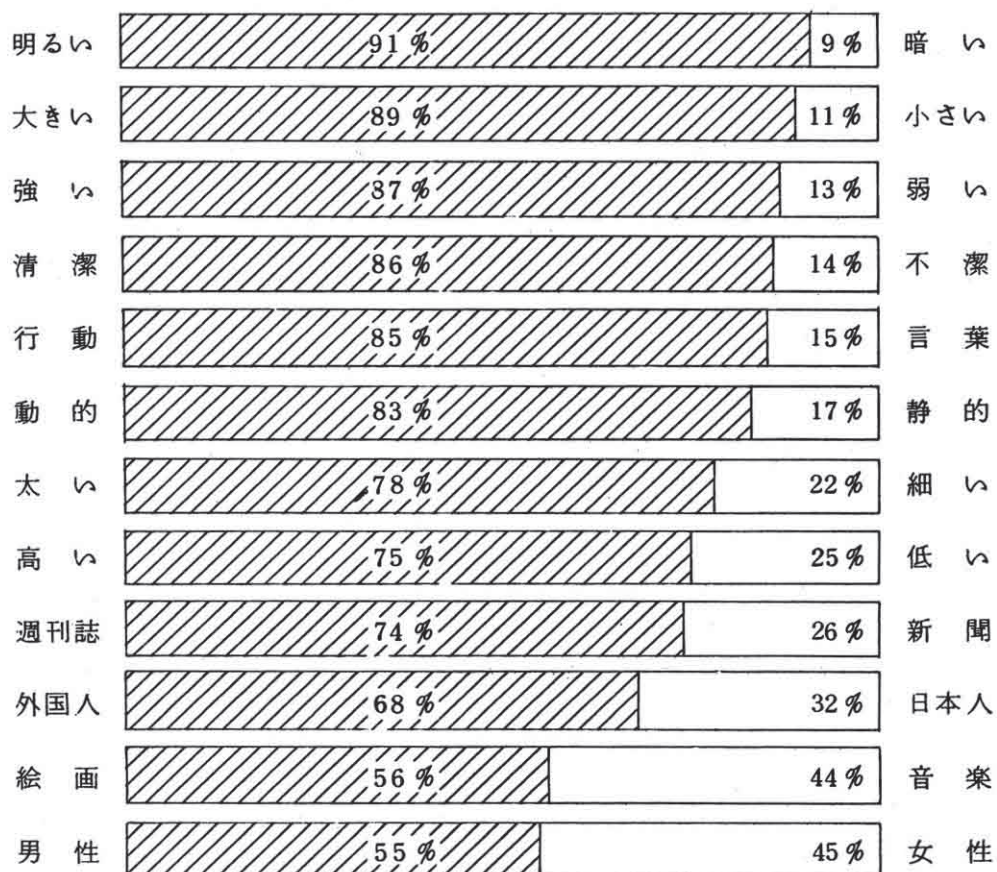
彼女たちの体型別にみると、背の低い者より背の高い者の方が“ボディと男”との結びつきを、逆に背の低い者は“女性とボディ”の結びつきを多く示している。また背の高い者は「動作・健康」に関する連想が多い。

さらに、ファッション関連反応は背の低い方の連想が多く、背の低さをファッションでカバーしようとする女性の特有の意識も見てとれる。これが、より明確なのは均整がとれていると自己評価しているか否かによって反応語に差が見られることで、均整がとれていると自己評価している者は「女らしさ」を表現する連想語が多く、ことにプロポーション・スタイルに関する反応が多い。これに対して、均整がとれていないと自覚している女性は、身体全体に関する反応が目立って多く、自分の身体に自信を持つことが、自己表現をより明確に行ないうることをも明らかにしているものだといえよう。

○ ボディのイメージは肯定的である

12対の連想を示し、ボディのイメージにぴったりとしたものを選択させた結果は図1の通りである。

図1. ボディのイメージ



図に見る通り、ボディは「明るく」「動的でダイナミックなもので」「ビビッド」なものとして受けとめられており、男のものでも女のものでもない、人間そのものを示すものとして、イメージされているとあってよいだろう。

○ ボディ意識は中学生から

ボディは何時頃から意識されるのかを見ると、15才を中心にその前後2才位が意識されはじめる年齢といえる。これは初潮に伴う青年前期の身体的な変化というよりも、生理的变化に応じた身体的変化、つまり、身長伸び、体重の増加、肩・腰の丸みの出現、乳房の増大などにより、ボディを意識せざるを得なくなった結果とあってよい。しかし、最近の発達加速現象に

よる初潮年令の前傾現象などを考慮すると、むしろ、この年令は15才よりも1・2才前傾してもよいものだといってよい。

本調査でも、全体的に12才までにボディを意識した人は数%にすぎないが、13才になってボディを意識したものは12%と急増し、殊に18～19才の層では19%と極端な増加を示している。このことは、文部省調査の数字ともある程度合致しており、初潮年令が13才を中心に行っていることを裏付けている。

しかし、それより2才後の15才でボディを意識しはじめるのは、ボディ意識を持つことが、一人前の女性として、女性としての意識を明確にすることになるからであり、単に身体的発達だけでなく、精神的発達がある水準に達することが必要であるからに他ならない。

表2はボディを意識しはじめた年令を対象者の年令別に見たものである。

18～19才の層は他の年令層とくらべて、身体を意識しはじめる年令が早く、15才までに70%がボディを意識している。

また、背が低いと自覚している者より、背が高いと自覚している者の方が早くボディを意識しはじめる傾向もみられる。

表2. ボディを意識しはじめる年令 (カッコ内は累積%)

ボディ意識年令 \ 調査対象者年令層	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
(N)	(500)	(117)	(138)	(143)	(102)
12才以下	12%	9%	12%	11%	15%
13才～15才	47(59)	62(71)	44(56)	41(52)	43(58)
16才～18才	31(90)	24(95)	35(91)	34(86)	29(87)
19才以上	9(99)	3(98)	8(99)	13(99)	11(98)
NA	1	2	1	1	2

そして、ボディを意識しはじめることによって、「服装に気を配ったり」「下着に気を配ったり」「鏡に向うことが多くなったり」「言動に責任を持ったり」するようになり、自己を表現するために自己をもう一度見直すように行動が変化して来るようである。

表3はボディを意識してからの変化を見たものであるが、年令によってかなりの差が見られている。

表3. ボディを意識してからの行動の変化

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
服装に気を配る	63 %	68 %	65 %	59 %	59 %
鏡に向うことが多い	39	42	29	44	40
下着に気を配る	31	27	25	34	40
男性の目を意識する	20	17	23	19	21
女らしくふるまう	18	18	17	18	20
言動に責任を持つ	18	12	17	20	21
男性に関心を持つ	14	15	15	10	18
落ちつきが出る	9	5	1	10	10
女らしさを強調	8	3	8	9	14
その他	5	3	6	5	6
わからない	5	4	5	6	3
Total %	230	214	221	234	252

まず、若い層では服装に気を配る者が多く、この割合は年齢が高くなると漸減し、逆に下着（ファンデーション・ランジェリー類）は年齢が高くなるにつれて多くなる。また、自分の言動に責任を持つ者も年齢と共に増加している。

この質問に対する Total % も年齢の上昇と共に増加しており、これらの結果は、ボディ意識が高まるにつれて、外から内への意識の変化がみられることを示している。つまり、外見を気にする10代から、内面を気にする結婚適令期への変化が見てとれよう。ファンデーション、ランジェリーに気を配ることは、見えるものから見えないものへの関心の移行とも受けとれよう。

何故ならば、ここに示されている反応はボディを意識しはじめた時点でどのように行動の変化が生じたかよりも、現実の行動や関心がかなり反映されていると見てもよいからである。

また、均整のとれている者の方が、そうでない者よりも「男性の目を意識」し「鏡に向うことが多い」となっている。このことは自分のボディに自身のある者の方が、自己表現も強く、期待も大きいことを示しているものといっていよう。

○ ボディの外見上の影響はかなりある

対象者自身が自分の身体の外見上、損をしたり得をしたりした経験を問うと、約半数弱の47%がこうした経験を持っている。

こうした経験は、年齢とか本人の自覚している体型とかによるよりも、対象者の生活空間に密接に関連している職業の違いによる差が大きいようである。

こうした体験の最も多いのは、女性中心の職場である「タイピスト、キーバンチャー」で最も多く、74%がこうした体験を持ち、また、次いで多いのが「販売・接客」などで約60%、また、専門技術職の場合も58%と多い。これに対して、学生ではそうした経験のない者が61%と逆の傾向を示している。

ところで損をしたのか得をしたのかを経験者に問うと、損をする方がやや多く、全体の39%を占めており、得をした経験は25%にしかすぎない。しかし、両方同じ位経験をするというものも含めると、損をする経験の方がかなり多くなるものと考えてよい。

表4. ボディの外見上の影響

	Total	18~19才	20~21才	22~23才	24~25才
ボディを意識させられた経験者	47 %	44 %	49 %	46 %	51 %
経験の内容	%	%	%	%	%
得をした経験	(25)	(33)	(15)	(28)	(29)
損をした経験	(39)	(33)	(41)	(35)	(44)
どちらも同じ	(36)	(33)	(44)	(37)	(27)
ボディを意識させられた経験なし	53 %	56 %	51 %	54 %	49 %

また、体型別にみると、経験の傾向は同じであるが、具体的な経験の内容はかなり違っており、背が低い方や肥っている方が得をする経験は少なく、逆に損をする経験が多いと意識しており、現実の体型意識が女性たちの行動をかなり左右していることが伺われる。

表4' 体型別に見たボディ体験

	均整型	非均整型	背が高い	普通	背が低い	やせ型	普通	肥り型
N	(176)	(60)	(61)	(121)	(54)	(47)	(113)	(76)
得をする	30 %	13 %	33 %	28 %	11 %	29 %	25 %	21 %
損をする	34	52	23	37	48	43	34	43
両方同じ	36	35	34	35	40	28	42	36

○ 体型のイメージ（背が高くてやや小肥りが評価される）

表5は各体型のイメージを全体として見たものである。

表 5. 体型のイメージ

	背の高い人は	背の低い人は	肥った人は	やせた人は
健康的	35 %	9 %	37 %	1 %
外向的	23	5	21	1
スポーティ	62	2	1	6
楽天的	7	28	58	1
陽気	13	21	52	2
理知的	19	6	1	14
きれいずき	6	6	3	16
弱々しい	7	15	1	53
神経質	18	10	3	68
内向的	3	31	5	13
消極的	2	19	4	13
陰気	4	13	3	11

この表5でみる限り、体型のイメージは「背の高い人」と「肥った人」に好意的で、「やせた人」に最も否定的であるといえる。

クレッチマーの体型と性格の関係を論じた論文によれば、肥満体は循環性気質であり、やせた人は分裂性気質であるという。本調査の対象者である独身女性が、このクレッチマーの性格論についての知識があるか否かはさておき、経験的にクレッチマーの性格論をふまえているものといってよい。すなわち、「肥った人」が外向的で、楽天的、陽気という特性は、循環性（躁うつ性）気質の特長の一部を示しており、また「やせた人」が神経質で、弱々しく、やや理知であることは分裂性気質の特長を示している。

「背の低い人」はこの丁度中間的位置づけにあり、内向的消極的であると同時に、楽天的で陽気であるというイメージを持たれている。

このような体型のイメージからいえば、「背が高くてもややお肥り」の体型が、彼女たちの考える理想的イメージに近いものなのではないだろうか。

ここに示されるような体型のイメージについては、年齢・職業その他の属性による差は全く認められず、ただ自己の体型評価に基づく分析では、前述の傾向がより強化されてくるようである。

○ ボディは行動に影響するところが大きい

クレッチマーの体型論をまつまでもなく、体型＝ボディがわれわれの行動を規制することは

事実である。表6はボディの違いが、独身女性の行動に影響するか否かを問うた結果である。

表6. ボディの違いは行動に影響するか

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
非常に・かなり影響する	29 %	24 %	25 %	29 %	40 %
やや影響する	36	43	35	36	31
影響はない	35	33	40	35	29

上表にみる通り、65%が何らかの形で影響があると答えており、とくに24～25才では影響するという者が急激に増加している。

また、体型別にみると、背の低い方と自己評価している者よりも、背が高いと自己評価している者の方が影響を及ぼすと判断する傾向がつよく、また、均整のとれていない者より、均整のとれている者の方がより多く影響すると判断している。

このことは、ボディの評価が肯定的な方向にある者は、ボディの影響をより多くうけて行動しているといってもよい。

具体的な影響の方向は、性格・考え方など行動全体に影響があるとする者が最も多く、また24～25才ではそうした傾向がより顕著である。また、劣等感を持つという者も多く、とくに18～19才で他の年齢層と比較して顕著である。これは、年齢の若いほど体位が向上して、その差をより意識することが多いからであろう。体型上では、肥ったり、やせたりしていることよりも背の高さが問題になり、背の低い者が劣等感を抱く傾向は強い。このことは、結婚の条件として、男女とも身長がひとつの条件となる傾向が、最近より強くなっていることからもうなづかれる。

○ 若い女性（ヤング）の行動評価

最近のヤングは体格がよくなり、伸び伸びとした肢体を持っていると一般にもいわれており、昭和ひとケタの中年からみると、ある種の恐れと憧れを持たざるを得ないようになっている。

独身女性（18～25才）が、ヤングの行動をどう評価しているかをみると、ヤングの行動の変化と体位の向上（ボディの変化）は密接な関係を持っていると評価している。

表7は、ヤングの行動の変化とボディの変化に関係があるか否かを問うた結果である。

表 7. ヤングの行動とボディの変化の関係

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
大いに かなり } 関係がある	26 %	19 %	27 %	24 %	37 %
やや関係がある	33	34	30	38	28
あまり 全く } 関係がない	40	46	42	37	34
N A	1	1	1	1	1

当然のことながら、同じ独身女性でも、またヤングに近い18～19才よりも、ヤングから離れている、または離れつつある24～25才の方がヤングの行動の変化がボディの変化にかなり関係があると判断している。

では、独身女性たちはヤングの行動をどう捉えているのだろうか。表8はヤングの行動の評価である。

これは自由回答をまとめたものであり、選択詞に反応させたものではないが、肯定的評価と否定的評価が全体では丁度半々になっている。これは、ヤングの言動面での評価が、ヤングの行動の積極面と否定面が丁度表裏一体の関係を示していることが原因なのであろう。しかし、24～25才になると急に否定的反応がふえるようになり、この辺の年齢が独身女性にとって、意識の変化の転回点にあることを示している。すなわち、24～25才の年齢層で、ヤングと一定の

表 8. 目立つヤングの行動

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
行動が生き生きしている	14 %	12 %	12 %	17 %	14 %
行動が大胆で積極的	13	15	17	8	12
無責任・無気力・無関心	13	15	14	11	11
服装が派手だ	12	14	9	13	12
言葉が乱暴で無礼	12	9	9	14	16
行動が開放的で自由	11	9	14	13	6
自分本位でわがまま	10	11	8	9	12
自己主張が強い	8	9	9	4	11
行動が衝動的	5	4	4	3	12
遊ぶことに積極的	3	—	4	2	6
服装が個性的	3	3	2	4	1
その他	19	13	17	23	22
N A	6	7	7	8	1
肯定的反応の Total %	52	48	49	48	50
否定的反応の Total %	52	53	53	50	63

距離を持つようになり、既に自分はヤングではないのだという意識が表面化してくるのにながいない。

また、ボディの変化がヤングの行動の変化に関係すると評価している人は、肯定的にヤングの行動を評価しているが、そうでない人は、逆にヤングの行動を否定的に評価する傾向がある。

(表9参照)

表9. 「ボディと行動」の意識変化によるヤングの行動評価

	Total	関係あり	やや関係あり	関係なし
肯定的評価	52 %	56 %	61 %	41 %
否定的評価	52	46	45	62
その他	19	27	18	14
N A	6	—	2	11

これはボディの評価に対する意識が、行動の評価に特定な関係を持つものといつてよい。

○ 独身女性の趣味と関心

独身女性の趣味は、ここ数年の調査の結果あまり大きな変化はなく、下表にみる通りである。

表10. 独身女性の趣味

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
音楽	40 %	45 %	43 %	36 %	36 %
スポーツ	28	44	23	25	23
旅行	27	12	33	30	30
映画・演劇鑑賞	26	26	25	25	28
手芸	20	17	21	20	22
生花	11	8	9	13	15
創作	11	9	12	11	11
和裁・洋裁	9	3	13	11	10
お茶	8	3	7	13	10
登山・ハイキング	4	2	4	5	7
その他	24	27	25	22	24

全体の傾向は表10にみる通りだが、面白いのは、「旅行」が20才以上になって急増すること
で、これは勤めたりすることによって、行動の自由がうばわれることが逆に「旅行」への好み
となってあらわれて来ているものと考える。

では、日常の関心や興味はどうなっているのだろうか。この回答は自由回答だったが、ま
とめると表11の如くなる。

表 11. 現在の興味・関心

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
おしゅれ	24 %	27 %	26 %	23 %	21 %
旅行	16	14	17	15	18
仕事・勉強	14	19	12	13	13
音楽	11	14	9	13	8
恋愛・結婚	9	2	8	12	17
社会的関心	9	4	9	11	14
スポーツ	7	13	4	7	5
おけいごと	6	2	6	9	9
読書	4	3	7	3	3
男性	3	4	3	2	4
その他	25	31	24	22	26
NA	8	5	7	10	9

おしゃれが女性の興味的一位になることは当然としても、仕事、勉強が三位にくるのは、多
少意外の感がしないでもない。しかし、女性特有の生真面目さからすれば、ある程度うなづけ
ることであり、こうした女性の期待と現実の仕事とのギャップから、女性が仕事に興味を次第
に失っていくという傾向もみられるのであろう。しかし、この仕事・勉強に最も興味を示して
いるのは学生であり、その意味からも、就職してからの失望も多いのではないかと想像出来る。

職業別でみると、「おしゃれ」に最も興味を示すのは「タイピスト・キーパンチャー」と
「専門技術職」であり、前者は44%と大きな興味を示している。また、社会問題については、
「専門技術職」が高く、意外なことに学生は非常に少ない。

また、当然だが、「恋愛・結婚・男性」に興味を示すのは、年齢が高くなるにつれて次第に
増加の傾向を示している。

○ 美しく理想的なボディ

「美しいボディ」について欠かせないものをあげて、それに対する反応をみると表12の如くなる。

この表は、非常に大切、大切、やや大切、あまり大切でないの四段階で答えさせたものであるが、上位2段階のみの％をみたものである。

表 12. 美しく理想的なボディ

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
プロポーションがよい	64 %	56 %	60 %	69 %	72 %
健康美にあふれている	92	92	91	92	92
肌がきれい	83	83	81	82	82
清潔感のあること	94	95	93	97	91
個性的であること	67	68	65	70	69
体全体に表情のあること	64	62	60	65	69
知性を感じさせること	52	48	49	55	59
セックス・アピールのあること	25	26	25	21	31
若さがあふれていること	84	85	86	85	80
体の動きに美しさのあること	77	74	72	81	82
服装が身にぴったりついていること	74	75	71	73	77
体がひきしまり、すっきりしていること	70	62	65	78	73

また、表12の同じ項目（12項目）の中から「美しいボディ」にとって最も大切なものを選択させると表13の如くなった。

表 13. 「美しいボディ」で最も大切なこと

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
健康美のあふれていること	33 %	32 %	33 %	34 %	33 %
清潔感のあること	28	27	31	28	24
個性的であること	8	14	7	5	6
若さがあふれていること	7	9	7	6	5
体の動きが美しいこと	6	3	5	6	10
プロポーションがよいこと	5	2	5	6	9
体全体に表情のあること	4	3	6	6	2
知性を感じさせること	3	3	1	4	4
体がひきしまり、すっきりしている	2	4	2	1	2
肌のきれいなこと	2	3	1	2	3
服装が身にぴったりしている	1	—	1	1	1
セックス・アピールのあること	1	—	—	—	2

表12, 13の結果でみる通り, 独身女性にとって「健康で, 清潔感」のあることが, 理想的なボディの基本条件とあってよいだろう。

○ アン・ルイス, 欧陽菲々, 由美かおるが理想的なボディイメージのタレント

対象者たちに15名のタレントを示し, この中から理想的なボディを持っていると考えられるタレントを選択させた結果が, 表14の結果である。

15人のタレントの中で, とび抜けた選択をうけた者はいなかったが, 表14に見る通り, 「アン・ルイス」「欧陽菲々」「由美かおる」が上位三位にランクされた。

表 14. 理想的なボディのタレント

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
アン・ルイス	20 %	21 %	18 %	20 %	20 %
欧陽菲々	19	17	15	20	28
由美かおる	19	15	20	21	17
立木(秋川)リサ	13	10	16	13	15
梶芽衣子	13	19	9	15	10
夏木マリ	11	7	16	9	12
風吹ジュン	11	18	10	6	10
山本リンダ	10	8	12	9	13
あべ静江	10	10	14	9	7
マギー・ミネンコ	10	17	18	9	4
ジャネット八田	7	5	7	7	9
山口百恵	5	8	7	4	1
研ナオコ	2	3	1	3	3
天地真理	3	3	2	1	5
田中真理	2	3	2	2	—
この中にいない。	8	11	7	7	7

○ 美しいボディをつくる努力

美しいボディをつくる努力は, 約30%弱の女性がしているが, 現在していない者も8割強は努力をしなければならないと答えている。

表 15. 美しいボディをつくる努力

		Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
努力している		28 %	27 %	30 %	26 %	29 %
努力していない		72	73	70	74	71
努力している人 努力していない人	努力すべきだ	86	82	84	90	86
	努力する必要はない	14	17	16	10	14

では、努力している者やしようとしている者たちは、具体的にどんな努力をし、どんな努力をしようとしているのだろうか。

表 16. 努力の具体的内容

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
運動するよう心がける	44 %	49 %	42 %	46 %	37 %
食事に気をつける	40	38	42	36	42
肌の手入れをおこたらぬ	28	25	29	33	24
いつも姿勢を正しくする	20	15	19	23	22
美容体操する	19	24	15	21	17
夜ふかしをしない	17	12	18	17	24

表16は具体的な努力の上位6位までをあげたものである。いずれも常識的なものであるが、努力をしなければならないと考えている者が全体の60%強いるにもかかわらず、現実には30%弱しか努力をしていないのは、ボディをつくるための努力が、いうはやすく行なうは難し、ということを示しているものといえてよいだろう。

○ ファンデーションはボディの基本である

——ブラジャー・ガードル・ボディースーツなどを重視——

ボディを美しく保つために、ファンデーションをどの程度独身女性は問題にしているのだろうか。表17はボディとファンデーションの関係を見たものである。

表 17. ファンデーションの重要性

	Total	年 令				体 型			
		18～19才	20～21才	22～23才	24～25才	背が高い	背が低い	肥っている	やせている
重 要	54 %	54 %	54 %	51 %	59 %	48 %	60 %	47 %	53 %
やや重要	36	39	37	38	28	41	29	41	35
重要でない	8	4	9	9	10	10	7	10	9
不 明	2	3	—	2	3	1	4	2	3

約90%の人がファンデーションの重要性を認識しており、また背の低い者の方が、よりファンデーションの重要性を認識している。

このことは、肥っていることよりも、背の高低が独身女性にとって極めて重要な意味を持っていることを示すもので、今まで見てきた結果からも明らかである。背を高くみせることが、女性のボディ意識に極めて大きな問題を提起しているといえよう。

では、独身女性はファンデーションの役割を具体的にはどう受けとめているのだろうか。

表18は、上位5位までをあげたものである。体型の補正機能を中心にファンデーションの役割を捉えているものといえる。こうした傾向は、ファンデーションが今までのようにイメージ商品ではなく、再び原点に帰り、本来の機能を期待されるようになってきたことを示すものだろう。これは独身女性のボディが過去と比較すると、非常に変化し、向上していることと無関係ではないだろう。つまり、補正しがいのあるボディに現代女性に変化したことを示すものであろう。

表 18. ファンデーションの役割

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
体型を整える	46 %	46 %	46 %	46 %	45 %
欠点を補正する	20	17	21	20	21
体の線をくずさない	19	13	20	23	21
欠点をかくす	11	9	12	10	13
体にフィット	9	9	11	11	5

○ 男は性格・健康・行動力で評価される

対象者に12項目の男性の評価項目を示し、これを1位、2位、3位と順位づけさせた結果をまとめたのが表19である。

この結果によると、男は性格、健康、行動力で女性に評価される。そして、経済力、知能などはさして高く評価されず、また外観、容貌、セックス・アピールは全くといってよいほど評価されていず、案外、健全なレベルで男性を評価しているものといってよい。

しかし、これは前述の結果のように、男や恋愛に対する興味や関心が意外に低く、興味が拡散していることにも問題があるのだろう。恐らく、24～27才の独身女性になると、この傾向はもっと違ったものになってくるであろう。

表 19. 男性の評価基準

	Total	18～19才	20～21才	22～23才	24～25才
性 格	79 %	83 %	82 %	80 %	71 %
健 康	55	52	57	51	62
行 動 力	50	49	57	48	46
人 生 観	30	31	25	35	27
仕 事 へ の 態 度	26	20	20	34	30
頭 脳	17	21	17	16	16
経 済 力	20	15	20	22	21

参考資料(調査票)

- Q1. 早速ですが「Body＝ボディ」という言葉から想い浮かぶものをなんでも結構ですから想い浮かぶままにいくつかあげて下さい。

--

- Q2. 「ボディ」という言葉から受ける印象は次の対になった言葉のどちらの方に近いでしょうか。

a		b		c		d		e		f	
太	細	明	暗	高	低	大	小	強	弱	男	女
い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	性	性
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

g		h		i		j		k		l	
動	静	外	日	不	清	音	絵	言	行	新	週
的	的	国	本	潔	潔	楽	画	業	動	聞	刊
		人	人							誌	誌
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

- Q3. 「ボディ」には「からだ」という意味がありますが、あなたが女性として「ボディ」を意識しはじめたのは何才のころですか。

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
以下											以上
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

Q 4. では「ボディ」を意識するようになってから考え方や行動がどのように変わりましたか。

女 ら し く 振 る ま う	女 ら し さ を 強 調 す	服 装 に 気 を 配 る よ	下 着 に 気 を 配 る よ	男 性 の 目 を 意 識 す	男 性 に 関 心 を も つ	鏡 に 向 う こ と が 多 く な っ た	落 ち つ き が で た	言 動 に 責 任 を も つ	そ の 他
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

Q 5. あなた自身、外見上の「ボディ」だけで、得をしたり、損をしたりという経験がありますか。

S Q あなた自身外見から得をする方が多いですか。それとも損をする方が多いですか。

あ る	な い
1	2

得 を す る 方 が 多 い	損 を す る 方 が 多 い	同 じ く ら い ど ち ら も
3	4	5

Q 6. 次のような体型の人からあなたはどのような印象を受けますか。

	弱 々 し い	神 経 質	内 向 的	外 向 的	健 康 的	楽 天 的	ス ポ ー テ イ	消 極 的	理 知 的	さ い れ い ず き	陰 気 な	陽 気 な
背の 高 い 人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y
背の 低 い 人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y
や せ て い る 人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y
肥 っ て い る 人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

Q 7. では一般にみて「ボディ」の差がその人の考え方や行動や行き方にどの程度影響を及ぼすものとお考えになりますか。

非 常 に 影 響 を 及 ぼ す	影 響 を 及 ぼ す か な り	影 響 を 及 ぼ す や や	影 響 を 及 ぼ さ な い あ ま り 影 響	影 響 は な い ほ と ん ど	全 く 関 係 な い
1	2	3	4	5	6

Q 8. 具体的にどのような影響を及ぼすのかお話し下さい。

Q 9. 最近「ヤングの体格＝ボディ」がよくなったといわれますが、このことと最近のヤングの言動や考え方と関係があると思いますか。

大いに 関係がある	かなり 関係がある	やや 関係がある	あまり 関係がない	全く 関係がない
1	2	3	4	5

Q10. ヤングのどんな言動が目立ちますか。

e x あなたは現在どんなことに興味や関心をお持ちですか。どんなことでも結構ですからおしえて下さい。

Q11. 女性の「美しいボディ」に欠かせないもの或いは大切なものはなんでしょう。次のそれぞれについて大切さの程度をおしえて下さい。

	非常に大切	かなり大切	やや大切	あまりではない
a プロポーションのよいこと (体全体に調和のとれていること)	1	2	3	4
b 健康美のあふれていること	1	2	3	4
c 肌のきれいなこと	1	2	3	4
d 清潔感のあること	1	2	3	4
e 個性的であること	1	2	3	4
f 体全体に表情のあること	1	2	3	4
g 知性を感じさせること	1	2	3	4
h セックスアピールのあること	1	2	3	4
i 若さがあふれていること	1	2	3	4
j 体の動きに美しさのあること	1	2	3	4
k 服装が身にぴったりしていること	1	2	3	4
l 体がひきしまりすつきりしていること	1	2	3	4

Q12. 前記の a～l までの項目で最も大切なものはどれですか。

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l
プロポーションのよいこと (全体的に調和のとれていること)	健康美のあふれていること	肌のきれいなこと	清潔感のあること	個性的であること	体全体に表情のあること	知性を感じさせること	セックスアピールのあること	若さがあふれていること	体の動きに美しさのあること	服装が身にびったりしていていること	体がひきしまりすっきりしていている
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

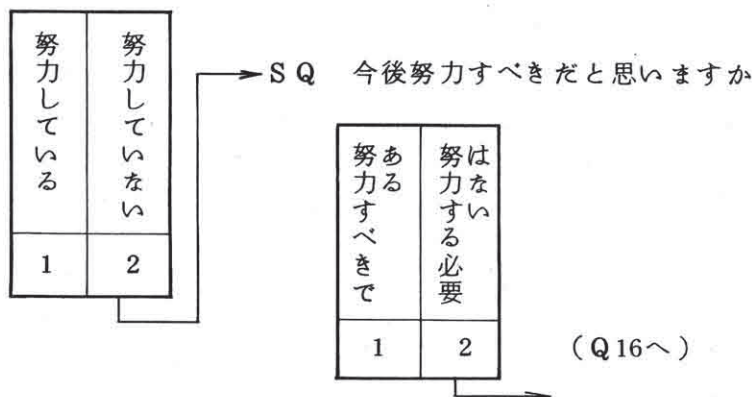
Q13. あなたが理想とする“ボディ・イメージ”を次のタレントの中から選んで下さい。

研 ナオコ	夏 木 マ リ	あ べ 静 江	梶 芽 衣 子	田 中 真 理	由 美 か お る	欧 陽 菲 菲	風 吹 ジ ュ ン	山 本 リ ン ダ	立 木 (秋川) リ リ サ	山 口 百 恵	マ ギ ー ミ ネ ン コ	ジ ャ ネ ッ ト 八 田	ア ン ・ ル イ ス	天 地 真 理	こ の 中 に は い な い
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y	1	2	3	4

SQ (この中にはいない人)

ではあなたは理想とするのはどんな人ですか。具体的に名前をあげて下さい。

Q14. あなたは美しいボディを作ったり、保つために努力をしていますか。



Q15. 具体的にどのような努力をなさっていますか。

(具体的にどのような努力をすべきだと思いますか)

食事に気をつける	美容体操をする	運動をするよう心がける	いつも姿勢を正しくする	歩き方を気をつける	いつもファンデーションに気をつける	肌の手入れを おこたらない	夜ふかしをしない	その他
1	2	3	4	5	6	7	8	0

Q16. ボディを美しく保つために下着はどの程度重要ですか。

非常に重要	かなり重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6

Q17. ボディを美しく保つための下着の役割で大切なことはどんなことですか。

体の線をくずさない	体型をととのえる	欠点を補正する	欠点をかくす	個性美を表現する	その他
1	2	3	4	5	6

Q18. あなたの魅力のポイントはどこにあると思いますか。あるいはどこにポイントをおいていますか。

バスト	ヒップ	ウエスト	背丈	体全体 (ボディ)	目	鼻	口・唇	歯	脚	腕	手	顔全体	その他
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y	1	2

Q19. ところであなたの男性を見る目、男性の評価はどんなことでおきめになります。3位まであげて下さい。

	健康	肉体美	セックスアピール	外観	容貌	行動力	仕事に対する態度	職業	経済力	性格	頭脳	人生観	その他
1位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y	*
2位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y	*
3位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y	*

Q20. あなたの考え方や行動に大きな影響力をもつ人が、あなたのまわりにいますか。

いる	いない	わからない
1	2	3

Q21. その人とあなたとの関係(間柄)は……

Bottom Sheet

B 1. 年齢

18	19	20	21	22	23	24	25
才	才	才	才	才	才	才	才
1	2	3	4	5	6	7	8

B 2. 学歴

中学卒	高校卒	短大在学中	短大卒	大学在学中	大学卒
1	2	3	4	5	6

B 3. 職業

有職	無職
1	2

→

学生	その他
1	2

SB4. 勤務先の業種

製造業(メーカー)	卸売・問屋・商社	デパート・スーパー	小売・専門店	銀行・保険・金融業	建築・建設・不動産	運輸・通信・電気ガス	公務・教育	医療・病院・医院	飲食店	その他
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X

B 5. お仕事の内容

一 般 事 務	キ ー パ ン チ ャ ー 1 タ イ ピ ス ト	販 売 ・ 外 交 ・ 接 客	専 門 技 術	部 品 組 立 て 製 造	そ の 他	
1	2	3	4	5	6	

B 6. 趣 味

和 裁 ・ 洋 裁	手 芸	生 花	お 茶	旅 行	映 画 演 劇 鑑 賞	音 楽	登 山 ・ ハ イ キ ン グ	創 作	ス ポ ー ツ	そ の 他
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X

B 7. ご家族（あなた自身を含めて生計を共にしている人） J 体型

1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上
1	2	3	4	5

背 が 高 い 方	中 位	背 が 低 い 方
1	2	3

肥 っ て い る 方	中 位	や せ て い る 方
1	2	3

均 整 が と れ て い る	均 整 が と れ て い な い
1	2

B 8. あなたの年収はおよそどの位になりますか。（税込み年収でお答え下さい）

仕送りをうけていらっしゃる方はそれも含めて下さい。

50 万 円 未 満	50 〜 70 万 円 未 満	70 〜 90 万 円 未 満	90 〜 110 万 円 未 満	110 〜 130 万 円 未 満	130 〜 150 万 円 未 満	150 〜 170 万 円 未 満	170 〜 200 万 円 未 満	200 〜 250 万 円 未 満	250 万 円 以 上	収 入 な し	無 回 答
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

B 9. お宅の世帯総収入はどの位になりますか。(税込み総年収)

100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満	500万円以上	わからない	無回答
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	X	Y

B10. あなたの月々のお遣いは平均してどの位お使いになりますか。

5千円以下	1万円以下	1万5千円以下	2万円以下	2万5千円以下	3万円以下	4万円以下	5万円以下	5万円より上
1	2	3	4	5	6	7	8	9